

急速に発達した低気圧が山形県沖底びき網漁場へ及ぼす影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2023-03-22 キーワード (Ja): 低気圧, 底質, 底びき網漁業 キーワード (En): 作成者: 忠鉢, 孝明, 鈴木, 裕之, 石向, 修一, 平野, 央, 井口, 雅陽, 木暮, 陽一, 森本, 晴之, 千手, 智晴 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.57348/00000032

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



急速に発達した低気圧が山形県沖底びき網漁場へ及ぼす影響

忠鉢孝明・鈴木裕之・石向修一・平野 央・井口雅陽・
木暮陽一・森本晴之・千手智晴

2012年4月3～4日に発達した低気圧が通過後、山形県沖合に泥状の堆積物が増加し、底びき網による漁獲量が大きく低下した。そこで、漁海況情報の解析とともに、堆積物を調べ、安定同位体比からその起源を評価した。その結果、堆積物は浮泥や軟泥で陸上と海産動物プランクトンの両方が起源と考えられた。これらは、河川からの濁水および沿岸の堆積物が再懸濁し沖合に輸送・堆積後、それらを栄養塩とする植物プランクトンが増殖し、これを捕食する動物プランクトンが増殖、死骸の堆積が操業に支障をきたしたと推測される。さらに、沖合海底での一時的な水温上昇や堆積物の分解による環境悪化が、底生魚類などの減少をもたらしたと考えられる。